

【1日目】2023年1月19日(木)

発表時刻	タイトル	氏名 (*敬称略)	所属
9:40-11:10	【一般演題】第1部 創薬・オミックス (発表12分、質疑3分)	座長：松島 綱治 (東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門) 大迫 誠一郎 (東京大学大学院 医学系研究科 疾患生命工学センター)	
1	次世代型GPCR創薬の実現を目指して	寺島 裕也	東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門
2	アロディニアを呈する担癌モデルマウスを用いたジスルフィラムの鎮痛効果	藤塚 亮次	東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門/東京理科大学 薬学部 薬学科 薬理学研究室
3	呼吸オミックスから空間オミックス解析への展開	井田 智章	東北大学大学院医学系研究科環境医学分野
4	Role of oxidative stress and caspase-8 in non-cell autonomous mechanisms of acrylamide-induced neurodegeneration	Cai Zong	Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science
5	潰瘍性大腸炎のRNA-seqデータを用いたアリアルハイドロカーボン受容体関連遺伝子に関するデータドリブン研究	本田 恭平	東京理科大学大学院薬学研究科
6	血中レジスチン濃度の人種横断型エピゲノムワイドメタ解析による新規DNAメチル化サイトの同定	中枅 昌弘	名古屋大学大学院 医学系研究科 実社会情報健康医療学講座

【2日目】2023年1月20日(金)

発表時刻	タイトル	氏名 (*敬称略)	所属
9:20-10:20	【一般演題】第2部 がん (発表12分、質疑3分)	座長：平工 雄介 (福井大学学術研究院医学系部門 環境保健学分野)	
7	BRCA1ハプロ不全はフェントン反応を基盤とする発がんにおいてフェルトーシス抵抗性と染色体増幅を促進する	豊國 伸哉	名古屋大学大学院医学系研究科生体反応病理学
8	Fscn1陽性樹状細胞による抗腫瘍CD8 ⁺ T細胞クローン応答制御	新谷 知広	東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門
9	1,2-ジクロロプロパン経口投与がマウス肝に与える影響及びNrf2の役割	木村 優介	東京理科大学 薬学部 環境労働衛生学
10	ジクロロプロパン、ジクロロメタン、トリクロロプロパンによるヒト胆管細胞DNA損傷	草ヶ谷 京士郎	東京理科大学大学院 薬学研究科
10:30-11:15	【一般演題】第3部 感染 (発表12分、質疑3分)	座長：澤 智裕 (熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座)	
11	亜鉛欠乏の腸管免疫機能低下による肝臓へのバクテリアトランスロケーションの発生	木戸 尊将	東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学講座
12	SARS-CoV-2 5'UTR RNAとヒトの脂質代謝過程との相互作用について	清水 由梨香	川崎医科大学 衛生学
13	腸管出血性大腸菌毒素SubABの毒性発現に関与する宿主レドックス調節の解析	津々木 博康	熊本大学大学院、生命科学研究部、微生物学講座
14:10-15:10	【一般演題】第4部 肺炎症 (発表12分、質疑3分)	座長：西村 泰光 (川崎医科大学衛生学)	
14	Clot biopsy is useful for evaluating lung inflammation	吉田 安宏	産業医科大学医学部免疫学・寄生虫学講座
15	Modeling bleomycin-induced lung injury using primary murine cell-derived lung organoids	Wu Bin	東京理科大学 生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門
16	ナノマテリアル曝露による肺への影響とその炎症誘導機構の検討	滝澤 亮哉	自治医科大学医学部環境予防医学講座
17	非晶質シリカナノ粒子による細胞傷害メカニズムの検討	山崎 京香	東京理科大学薬学部 環境労働衛生学
15:20-16:20	【一般演題】第5部 神経・血管 (発表12分、質疑3分)	座長：市原 佐保子 (自治医科大学 医学部 環境予防医学講座)	
18	Impact of Benzo[a]pyrene exposure on Central Nervous System of Mice	Walaa SH. Abd El Naby	Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science
19	Deletion of <i>IL-1β</i> Enhances Acrylamide-Induced Neurotoxicity in Mice	Alzahraa Fergany	Faculty of Pharmaceutical Sciences, Tokyo University of Science
20	喫煙によりDNAメチル化が低下するゲノム領域のマウス相同領域におけるメチル化解析	三瀬 名丹	自治医科大学 医学部 環境予防医学講座
21	Endoplasmic reticulum stress is inhibited by <i>RNF213</i> suppression, a susceptibility gene for moyamoya disease	Sharif Ahmed	三重大学大学院 医学系研究科 環境分子医学
16:30-17:15	【一般演題】第6部 ケミカルバイオロジー (発表12分、質疑3分)	座長：赤池 孝章 (東北大学大学院 医学系研究科 環境医学分野)	
22	環化超硫黄分子の生体内検出とエネルギー代謝機能の解明	松永 哲郎	東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野
23	超硫黄触媒酵素: アルコールデヒドロゲナーゼ5 (ADH5) によるNOシグナル機能の制御メカニズム	守田 匡伸	東北大学大学院医学系研究科 環境医学分野
24	OH基を有する化合物の標的タンパク質同定法の開発と作用機序解明	飯泉 陽介	京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的予防医学